

令和元年 第2回喬木村議会定例会一般質問

令和元年6月15日 午前9時00分開議

会場：喬木村役場 議場

順序	氏名	質問事項
1	後藤 澄壽	<ul style="list-style-type: none"> ○第5次総合計画にある「地域間接続道路の整備」の現状と今後の予定はどうなっているか。 ○3月の伊那谷自治体会議の論議を受けて「知」の誘致集積に向けてどのように取り組むか。
2	櫻井 登	<ul style="list-style-type: none"> ○農地の未相続登記が農地の売買や賃貸に影響はないか。 ○農転申請時の現地確認と許可条件付帯はどの様か。 ○小学校でのプログラミング学習導入前に懸念解消を。 ○各教科目でのプログラミング教育はどの様な指導をされるのか、その取り組みを説明してください。 ○アスボの利用概要と課題は
3	東原 靖雄	<ul style="list-style-type: none"> ○三遠南信自動車道3工区7号橋直下にある二日洞簡易水道の水源の保全はされているか。 (1) 三遠南信自動車道3工区二日洞工事用道路による二日洞水源への汚染対策は。 (2) 現在の水源池の利用区域は南部地区、小川地区で、村では安全対策として、今後水源池を移動することで計画されているが
4	下平 貢	<ul style="list-style-type: none"> ○火災出動の検証について ○消防団員確保について ○団員の負担軽減について ○地域防災力強化の為の消防団のあり方について
5	福澤 眞理子	<ul style="list-style-type: none"> ○要保護及び準要保護児童生徒援助費における給食費の実費支給を求めたい。
6	木下 温司	<ul style="list-style-type: none"> ○住民の安心・安全を守る対策について。 ○村の産業振興と今後について。
7	小池 豊	<ul style="list-style-type: none"> ○村内の文化財の管理状況と、活用について。 ○三遠南信自動車道の工事対応と、将来を見据えた対応について。
8	後藤 章人	<ul style="list-style-type: none"> ○出産祝い金の在り方について。 ○高齢者クラブへの後押しは考えてもらえるか。

令和元年 5月24日

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 後藤澄壽

一 般 質 問 通 告

次の通り通告します。

質 問 事 項	質問の要旨	質問相手
<p>第5次総合計画にある「地域間接続道路の整備」の現状と今後の予定はどうなっているか。</p>	<p>(1) 「地域間の接続道路の整備」の現状はどうなっているか。 先日の大島の火事の際、氏乗から駆け付けた方々から林道整備の必要性について切実な声があった。一方、この度、上平から帰牛原へと抜ける村道の災害策工事の予算が認められ、早期完成が望まれている。 また、県道上飯田線の改良に関して小川・氏乗間のトンネル化を含む道路改良の早期実現という何年間にもわたって議会から県に要望をしている課題もある。このトンネル予定地域は、古くは小川から氏乗に抜けて秋葉街道へとつながる多くの人馬が行き来する重要な生活道路があったところである。現在はこれを、三遠南信道とリニアを結ぶ主要幹線道路として復活させるという要望である。 このような内部環境の整備に関して、</p> <p>(2) 「地域間の接続道路の整備」の今後の予定は、どのようになっているのか。</p>	<p>井澤高速交通対策課長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p>
<p>3月の伊那谷自治体会議の論議を受けて「知」の誘致集積に向けてどのように取り組むか。</p>	<p>(1) 喬木村など関連自治体で協議を始めたと聞くがどんな話が出ているのか。 喬木村には「柿プロジェクト」の取組があり、「航空関連企業」もある。Sバードや他の自治体と連携して、「知」の誘致集積の拠点の1つになる取組を進めたらどうかと考える。 また、将来はこの伊那谷がオックスフォードやケンブリジのような「伊那谷まるごと大学」として、「知」の誘致集積地帯になったらいいと考えるが、</p> <p>(2) 村としてはこの「知」の誘致集積にむけて、どのような取組を考えているのか。</p>	<p>市瀬村長</p> <p>市瀬村長</p>

予め議長に通告内容を提示し、許可を得て期日までに正本を提出してください。

令和元年 5月 24日

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 櫻 井 登

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

(1)

質問事項	質問の要旨	質問相手
(1) 農地の未相続登記が農地の売買や賃貸に影響はないか。	(1) 相続登記は個人の問題としても、相続が未登記の農地が売買や賃貸等による担い手への農地集約が難しくなる場合、或いは公共用地の取得に影響はどうかなど、異動が発生する時には時間も要し困難なケースが多いと思われるが、現時点での喬木村における農地の相続未登記はどのような状況かお訊ねします。	松島産業 振興課長
(2) 農転申請時の現地確認と許可条件付帯はどの様か。	(1) 農地転用の申請がなされた場合、当該申請地の現状把握等の現地確認は行われているかどうか。お訊きします。 (2) 当該申請地の地形が周囲への影響を及ぼすことがないかとか(地すべり等)、転用目的が恒久的な構造物の申請の場合には、許可につき付帯条件を付すことは可能かどうか、お訊きします。	松島産業 振興課長 松島産業 振興課長

(2)

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>(3) 小学校でのプログラミング学習導入前に懸念解消を。</p>	<p>(1) プログラミング学習が本格化する前に民間のコンピューター教室では、プログラミング教室の募集が始まっている。学校外でのパソコン環境を考えると子供の間には差が生まれ、将来の格差に繋がるという懸念もあります。 ICT教育の進んだ本村では格差解消に対応すべくIT自習室を開いてはどうか。お訊きします。</p>	<p>林田教育委員会 事務局長</p>
<p>(4) 各教科目でのプログラミング教育はどのような指導をされるのか、その取り組みを説明してください。</p>	<p>(1) 国語では、算数では、理科では、音楽や図画工作ではというように、教科目ごとにお訊ねします。</p>	<p>林田教育委員会 事務局長</p>
<p>(5) アスボの利用概況と課題は</p>	<p>(1) アスボの利用開始から1年を経過しました。 村民の方々はじめ、利用者の利用状況の様子や、活動上の課題など、1年間を通じてどのようなことがありましたでしょうか。 お気付きの点をお訊ねします。</p>	<p>林田教育委員会 事務局長</p>

令和元年 5 月 27 日提出

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 東原靖雄

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので通告します。

(1)

質 問 事 項	1 回目 of 質問趣旨及び要旨	2 回目以降の関連質問趣旨	答 弁 者
<p>1 三遠南信自動車道3工区7号橋直下にある二日洞簡易水道の水源の保全はされているか</p>	<p>(1) 三遠南信自動車道 3 工区二日洞工事用道路による二日洞水源への汚染対策は</p> <p>(2) 現在の水源池の利用区域は南部地区、小川地区で、村では安全対策として、今後水源池を移動することで計画されているが。</p>	<p>① 工事用道路の内、道路部分の約 430mは、道路左側河川への汚染はどのような対策をされていますか</p> <p>② 工事用道路の内、空中を走る仮橋部分の安全対策はどの様になされていますか</p> <p>③ 将来三遠南信自動車道が開通された時、矢筈インターよりのトンネル内の沸き水処理、又路面排水は、橋梁の路面排水はどのような処理されていますか</p> <p>①現在水源の流域面積は 177ha とされているが、水源池を三遠南信自動車道より上流となると、その流域面積が 17ha 減少するとされている、夏場の水量が減少した時利用者は 2400 人で 1 日平均配水量 530m³以上の水量の確保はできますか</p>	<p>井澤高速交通対策課長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p> <p>福澤生活環境課長</p>

令和元年 5月 31日提出

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 下平 貢

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので通告します。

(1)

質 問 事 項	1 回目の質問趣旨及び要旨	2 回目以降の関連質問趣旨	答 弁 者
1 火災出動の検証について	(1) 本年に入り大きな火災が続いてしまったが、その主たる原因をどのように検証しているか。	① 消火に要した時間と鎮火から解散までの時間と、出動人員について。	林総務課長
2 消防団員確保について	(1) 団員減少は、全国規模の課題となっているが、当村としてその要因をどのように捉えているか。	① 自治組織において多方面に亘りなり手不足の状況は否めないが、地域との協働で消防組織作りの必要性を感じるがどう考えるか。 ② 団員への災害出動に対する直接支払い制度の検討が必要な時期を迎えたのではないかと思うが、どのように考えているか。	林総務課長 市瀬村長 市瀬村長
3 団員の負担軽減について	(1) 辰野町消防団が操法大会の中止を決定したことについて、飯伊消防協会並びに、県下各地への影響は。	① 喬木村消防団並びに喬木村として今後の操法大会に向けた考え方はどの様に考えているか。	林総務課長

質 問 事 項	1 回目 の 質 問 趣 旨 及 び 要 旨	2 回 目 以 降 の 関 連 質 問 趣 旨	答 弁 者
4 地域防災力強化の為の消防団のあり方について	(1) 2分団制の効果をどう検証しているか。 (2) 人口減少の続く社会における持続可能な消防組織の編成についてどの様に考えているか。	② 操法は機関の操作技能の向上の基礎ばかりでなく、安全確保や有事の際の指揮命令系の根幹となるものと捉えている。操法の意義を団員のみならず住民にも理解を深めてもらう必要があると考えるが、村としてどう捉えているか。	市瀬村長
		① 分団と地域の連携はとれているか。	林総務課長
		① 2分団制に編成したばかりではあるが、今後の人口減少を考えると、1分団制も考えなければならぬ時期がくると考えるが、どの様に考えるか。	市瀬村長
		② 少数精鋭部隊を編成し報酬もある程度補償する中で、しっかりと活動頂くことと、地域のリーダーとしての人格形成の場として消防団を位置づけていくことも大切ではないかと思うが、どの様に考えるか。	市瀬村長

令和元年6月4日提出

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 福澤真理子

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので通告します。

(1)

質 問 事 項	1 回目 の 質 問 趣 旨 及 び 要 旨	2 回目 以 降 の 関 連 質 問 趣 旨	答 弁 者
<p>1 要保護及び準要保護児童生徒援助費における給食費の実費支給を求めたい。</p>	<p>(1)長野県では、子どもと子育て家庭の生活状況などに関する「子どもと子育て家庭の生活実態調査」を平成29年8月に実施した。生活困難度は飯伊地域は、とりわけというわけではないが、生活困窮家庭、周辺家庭のいずれも県全体より高くなっている。長野の子ども白書の中で、調査結果から、希望する支援サービスの項で、困窮家庭で、「子どもの就学に係る費用の軽減」が54.8%とどの区分よりも多くなっていると報告されている。給食費の援助は、子どもの健やかな成長を支援するものであり、現在6割となっているが、実費の支給を求めたいがどうか。</p> <p>(2) 喬木村要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱第5条では、学用品費、通学用品費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、給食費は年2回(6月、12月)に分け、支給するものとし、その他の費目についてはその都度支給するものとする。とある。経済的な困難をもつ家庭においては、後に償還されるとしても、毎月それを考えることも精神的にも負担だったと聞いた。納めなければならないことは承知されており、保護者の負担を少しでも軽くする方法、例えば支援分を現物支給にするなど、改善をしてもらいたいがどうか。</p>	<p>①給食に係る就学援助の補助率を上げるなど対応は考えられないか。</p> <p>①納めるべき費用の滞納はないか。</p> <p>②学校給食費についての通知が喬木村学校協同調理場長名で保護者宛てに出されている。その中の〈お願い〉の6で、給食費に未納が生じて知る場合には、児童手当支給に合わせて清算いただく場合がありますので、予めご了承願います。という文面がある。当該月に納入ができなくて、この内容で支払っている家庭はあったか。</p>	<p>市瀬村長</p> <p>林田教育委員会事務局長</p> <p>林田教育委員会事務局長</p>

喬木村議会議長 下岡 幸文 殿

喬木村議会議員 木下温司

一 般 質 問 通 告 書

質 問 事 項	1 回目 of 質問趣旨及び要旨	2 回目以降の関連質問趣旨	答 弁 者
<p>1 住民の安心・安全を守る対策について</p>	<p>(1) 川崎市で起きた児童殺傷事件、こうした犯罪に対する村の対応策は。</p> <p>(2) 大津で起きた園児の散歩コースでの事故、村としての対策は。</p> <p>(3) 工事用車両の交通安全に対する今後の対応について。</p> <p>(4) 火災等の早期発見に、山間地域へライブカメラの設置は。</p> <p>(5) 高齢運転者の交通事故対策について。</p>	<p>①悲惨な事件、田舎だから起こらないという保証はなく、難しい対応が迫られます。</p> <p>②散歩コースの見直しや、危険個所の点検など、どのように対応されているのか。</p> <p>③今後予想される工事用車両の安全対策に、警備会社の人手不足が深刻、十分な対応策を。</p> <p>④早期発見の為、地域の見守りとして、山間地へのカメラの設置は。</p> <p>⑤高齢者の活躍への期待と高齢運転の事故防止との両立を図る対策は。</p>	<p>丸山教育長</p> <p>林田教育委員会事務局長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p> <p>林総務課長</p> <p>林総務課長</p>
<p>2 村の産業振興と今後について</p>	<p>(1) 九十九谷森林公園内の3つの木橋、看板の改修について。</p> <p>(2) 交流センターの改修と食文化の提供場所について</p> <p>(3) 伝統野菜を生かした観光開発について</p> <p>(4) スポーツイベントと村への誘客について</p> <p>(5) 土産品開発に向けた組織体制づくりについて</p>	<p>①九十九谷森林公園は、喬木村の自然公園として注目されています。観光に活かせる対策を。</p> <p>②交流センター周辺は村の要、情報の受発信や食文化の提供拠点として整備を。</p> <p>③伝統野菜を使った食事や土産品の開発など新たな観光施策を。</p> <p>④スポーツイベントと健康、観光への取組。</p> <p>⑤将来に向けた、喬木村への誘客と土産品の開発について広い視野で考える対策を。</p>	<p>福澤生活環境課長</p> <p>松島産業振興課長</p> <p>松島産業振興課長</p> <p>林田教育委員会事務局長</p> <p>松島産業振興課長</p>

次の事項について質問したいので通告します。

一般質問通告

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 村内の文化財の管理状況と、活用について	<p>① 村内には、歴史のあるまたすばらしい文化財が多くあります。文化財保護委員会で、掌握いただいているところですが、歴史民族資料館の中、大島の菊目石、伊久間原の遺跡、安養寺の毘沙門堂、曙月庵、富田下社の回り舞台、医泉寺の日光・月光、郭1号古墳等。管理については、個人所有もあり、管理の形態は異なるわけですが、いずれにしても、将来大切に残していきたいものばかりです。村として、管理はどのようにしていくのか、今後出来る対応をお聞きします。</p> <p>② 文化財施設の有効活用については、将来増えてくる観光客に対しても、大切になってこようかと思われれます。特に欧米人は日本の歴史文化に深い興味を持たれていると聞きます。曙月庵の活用、阿島傘伝承館の活用、また資料館の対応についても、展示の工夫をし、来館者に対して魅力のある展示をとの声を聞きます。村内の祭り、狼煙上げの様子等スライド映写。歴史の勉強に多く来館する小学生が見て楽しい場所にできたらと感じるところです。村として工夫、考えをお聞きします。</p>	<p>林田教育委員会事務局長</p> <p>丸山教育長</p>
2. 三遠南信自動車道の工事対応と、将来を見据えた対応について	<p>① 三遠南信自動車道の工事につきましては、着々と進行し、本年度中には、飯田上久堅・喬木富田インターから、中央道山本インターまで開通の運びとなりました。飯喬道路も46億円の予算がつき、3工区についても建設促進が図られているところです。上久堅から富田バイパス間の改良については、行政、議会一体となり、県等に要請しているところですが、村として県に要望する具体的なコース、改良方法について方向は。</p> <p>② 工事用道路の工事終了後、村道として有効活用要望がある場合、村としての捉え方は。</p> <p>③ 人の流れと同時に、資材、物流に大きく利用される道路になろうと思います。インターの近くに、産業用敷地を用意している地区を聞きます。喬木村としては将来対応をどう捉えていくのか、お聞きします。</p>	<p>井澤高速交通対策課長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p> <p>井澤高速交通対策課長</p>

令和元年 6月 5日

喬木村議会議長 殿

喬木村議会議員 後藤 章人

一 般 質 問 通 告

次の通り通告します。

質 問 事 項	質問の要旨	質問相手
<p>出産祝い金の在り方について</p>	<p>① 祝い金として第一子、二子、三子…と生まれた順によって支給する額の違いはどこからきているのか。</p> <p>② 村民の一人としての子供一人ひとりに祝い金を支給するなら問題ないが、家庭に支給するのは税の使い方としては不公平さを感じる。なぜなら授かった家庭もあればそうでない家庭もある。出産祝い金は要綱によると、子を養育する父母に支給する、となっているがこれは、子供を持たない家庭からすればいかなものかと感じる。</p> <p>③ 親にとって出産、出産後も金銭的には多くの負担があると思うが、実際子供にお金がかかるのはもっと後のことではないか。「次世代を担う児童確保を図り、村勢の発展」に寄与して貰うことを目的とするなら長きに渡って子供の為に補助するべきと思う。そうなれば就学後に補助金を回せないだろうか。例えば、奨学金の充実、ICT 教育の充実の為にタブレット支給、教育ローンの設立、高校生の通学の交通費（当村は交通の便が必ずしも良いとは言えず親が送り迎えなど負担が大きい）</p> <p>来年度から小学校で英語が必修となる事を見据え、保育園の年長さんに遊びながらも英語に接しられるような環境づくり等、様々な面で検討を願いたい。</p>	<p>飯ヶ浜保健福祉課長</p> <p>市瀬村長</p> <p>市瀬村長</p>
<p>高齢者クラブへの後押しは考えてもらえるか</p>	<p>① 高齢者クラブの加入人数が減少傾向にある。特に平成 30 年と 31 年を見るとその減少の様子は極端だ。また人数の減少と共に、クラブの解散も今年は三団体となっている。過去には解散後、再開されたクラブもあるがそれには、かなりの努力がいったことと推測される。今後、もっと深く調査しなければ解散の理由ははっきり</p>	<p>飯ヶ浜保健福祉課長</p>

しないが、現在よく言われているのが「役員のなり手が無い」ということだ。クラブを構成する人口も減っていく中、せめて「役員のなり手が無く会を存続できない」という現状を何とか手助けできないものだろうか。解散はやむを得ないができるなら続けてほしいし、続けたいという思いの方が多数いることも確かだ。高齢の方々にとっては、人数の把握、お知らせの作成・配布、飲食の手配、報告書の作成等クラブ運営の為に仕事は大変厳しいものと思われる。クラブの全てに関して後押しすべきとは思いますが、少しでも後押し出来てクラブの運営などに力を貸すことはできないものか。クラブの消滅は、そのまま地域コミュニティーの縮小に繋がるような気がして、そしてそれが行く行くは村の活気が失われていくことに繋がらないか心配だ。希望する高齢者クラブに対し、ある程度の手助けができるようなシステムの検討を願えないものか